

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

チームワークを取り戻す 唐津 一 (東海大学名誉教授)

1. 日本というのはアジアの果てにある島国であり、天然資源がないどころか、火山が多く地震などの天災が頻繁に起こる立地条件としては最悪の国と言えます。そうした国が世界で 2 番目の経済大国であるというのは大変驚くべきことでしょう。つまり日本にはモノをつくる技術しかない。けれど、技術には付加価値をつくり出す力がある。まさに、そこが日本経済の原点になっていたのです。
2. 日本がモノづくりで世界のトップを走り続けるには、松下幸之助がよく言われた「人がやらないことをやれ」が、重要な要素だと考えています。そのためには、何より気が付くことが大事です。どんな成功にも問題があります。それを私は誤差と呼んでいます。観察力を持ってみんなで誤差を解決していかななくてはなりません。日本の成功は、この誤差との闘いにあると言うこともできます。
3. その点、日本にはお互いさまという独特の精神があります。つまり、チームワークです。みんなで一緒に手を組んでやろう、そうした中で技術を伝えあい、学びあってきた。それは今までの日本の成功を支えてきたし、これからも強みになると考えています。だからこそ、日本人は $1+1=2$ ではなく 2.5 にも 3 にもしてきたのです。

(参考:「週刊東洋経済」2007年10月17日号)

経営者のための危機管理

製造業の 2009 年問題

1. 製造業の「2009 年問題」が浮上している。電機・自動車などの製造現場を支えている「派遣」労働者の雇用期間が、いっせいに 3 年を超え、メーカー側の「派遣」契約をいったん打ち切るか、直接雇用で切り替える(正社員化する)義務を負う。メーカーが急激なコスト上昇を受け入れるとは考えにくく、労働力不足が発生するかもしれないのだ。国内製造業が機能不全に陥る危機だ。
2. 2006 年に急加速した「派遣」シフトは、思わぬ障害となって現れる。「派遣」は、雇用期間が 3 年を超えると、メーカーは派遣労働者を直接雇用(期間工を含む正社員化)を申し出る義務が生じる。2006 年から 3 年が経過した 2009 年、派遣労働者の大多数が、いっせいに雇用期限を迎えることになるのだ。また、2009 年に向けて、労働者派遣法の見直しが議論されてしかるべきだろう。そこには当然正規社員と非正規社員の格差是正を前提とした、労働法制全体のグランドデザインが必要であることは言うまでもない。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2007年11月10日号)

心・健康・環境について

静坐の効用

1. 静坐は、ただ座っているだけで心身が安らぎ、病気知らずの体になる。静坐は次のように行う。まず正座の姿勢で座る。膝は少し開き、両足は土踏まずのところを重ねる。両手は右手を上にして組み、大腿の上に置く。腰を伸ばし、肩の力を抜いて、首は真っはぐに顎を引いた姿勢で目を閉じる。
2. そして、次のように呼吸する。下腹部に力を入れ、鼻から息をゆっくり吐きながらみぞおちをへこませる。息を吐き切ったら、へこんだみぞおちに息を吸い込んでいく。しっかりと吐いておけば、自然と息が流れ込んでくる。静坐で大切なのは、座ることに目的を持たないこと。健康になろうとか、無念無想になろうとか、精神統一しようなどと考えない。ほかのことを考えずに、一心に息を吐きながら腹に力を入れるだけでいい。

(参考:「日経ビジネス」2007年11月12日号)

古典に学ぶ

窮すべからざる理なし

「窮すべからざるの理なく、応ずべからざるの変なし」

(訳)「世の中の道理は、いかに困難なことでも究めつくせないものはない。世の中は千変万化するが、どのような悪化も対応できないことはない。

(参考:佐藤一斎「言志四録」:PHP文庫)